

ATOM DATA LINE

住まいの金物図鑑

AFD SYSTEM マルチソフトクローズ ダブルオープン納まり

本カタログの取付説明書
注文コードはこちら

注文コード **278805**

※MF-200(マルチソフトクローズ
ユニット)に取付説明書は同梱
されていません。

※建具の仕様ごとに取付説明書が
異なります。本カタログの仕様は、
上記注文コードの取付説明書を
ご注文ください。

使用条件

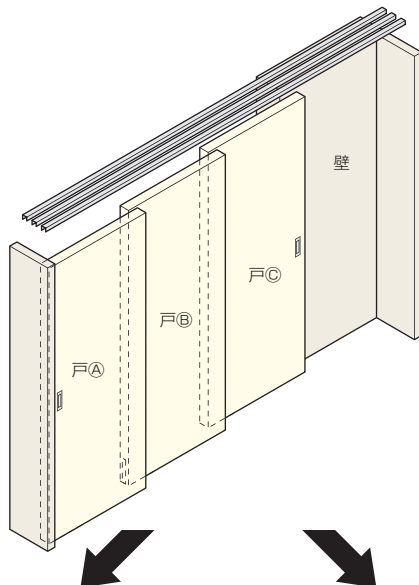
一般住宅屋内用木製引戸（浴室には使用できません）

◇対応戸厚：36mmのみ ◇戸の重なり代：100mm ◇引戸の総質量：30kg以下（引戸1枚） ◇引戸の幅：600～900mm（引戸1枚）

◇使用温度範囲：5℃～40℃

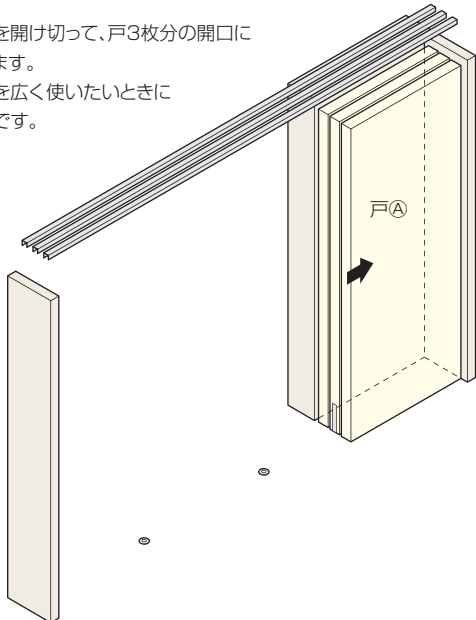
◇クローズ速度調整：調整できません

- 2種類の戸の開け方ができる連動引戸金具です。
- 1つ目の戸の開け方は、従来からある3枚分の戸を全開にして、広い開口で使います（フルオープン）。
2つ目の戸の開け方は、戸③を固定し、戸①と戸②を開けて出入りできます（ダブルオープン）。
- 上記いずれの開け方においても、操作する戸は開閉どちら側でもソフトクローズが作動します。



■フルオープン

戸①を開け切って、戸3枚分の開口に
できます。
部屋を広く使いたいときに
便利です。



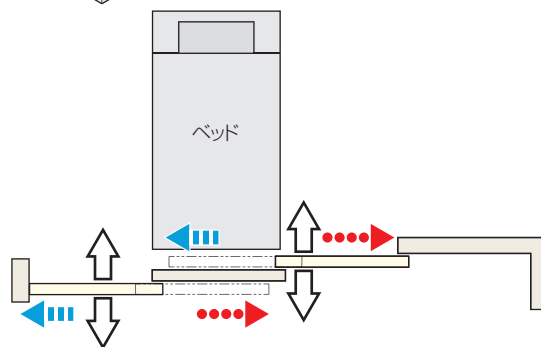
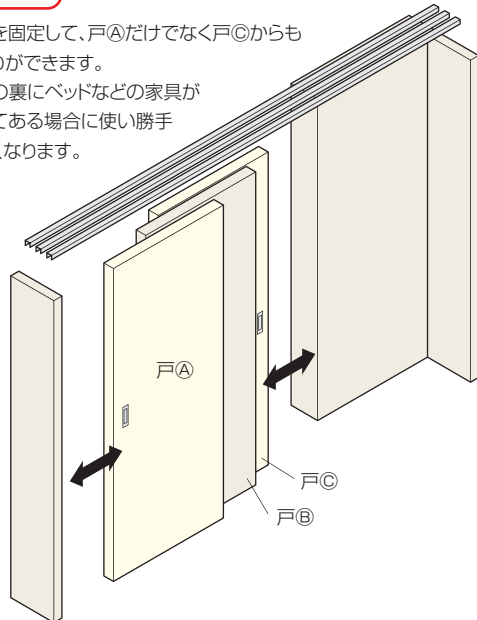
戸を閉じ切った際は、戸①を操作し、戸②・戸③を連動させて
出入りします。

切替
操作 A切替
操作 B

■ダブルオープン

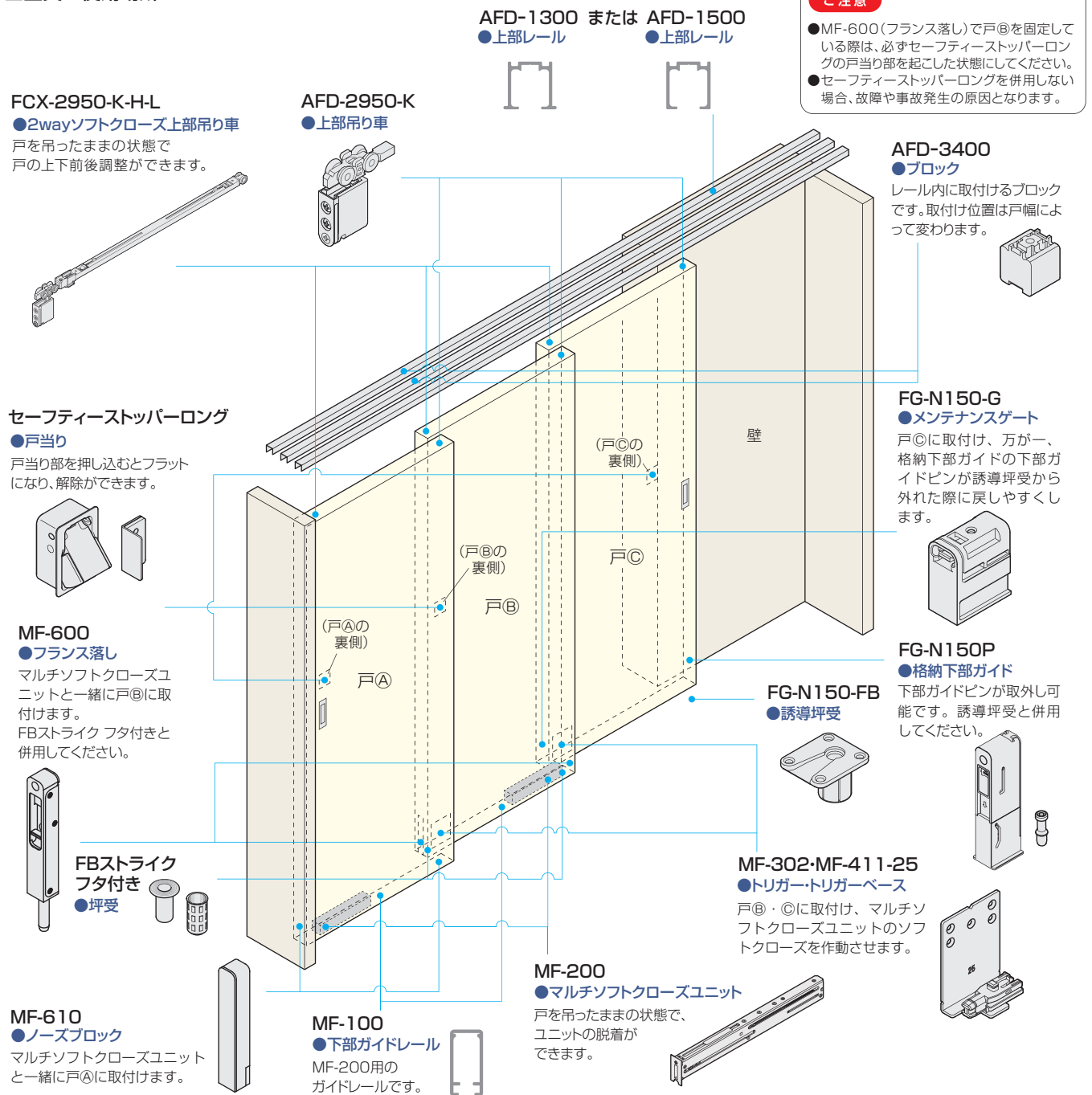
NEW

戸③を固定して、戸①だけでなく戸②からも
出入りができます。
戸③の裏にベッドなどの家具が
置いてある場合に使い勝手
がよくなります。



■ は、ソフトクローズ上部吊り車の動作を表します。 ■ は、マルチソフトクローズユニットの動作を表します。

■金具の使用場所



■使用金具例

ご注意 金具使用例以外の組み合わせで施工された場合は、金物が破損するおそれがあります。

使用金具の種類	フランス落し	格納下部ガイド	戸当り	トリガー・トリガーベース	ノーズブロック	メンテナンスゲート	坪受	マルチソフトクローズユニット	下部ガイドレール	取付説明書	
	MF-600	FG-N150P	セーフティストッパー	MF-302・MF-411-25	MF-610	FG-N150-G	FG-N150-FB	FBストライクフタ付き	MF-200	MF-100	
引戸											
戸①	—	—	1ヶ	—	1セット2ヶ入	—	—	—	1ヶ	1本	1ヶ
戸②	1セット2ヶ入	—	1ヶ	1セット2ヶ入から1ヶ	—	—	—	2ヶ	1ヶ	1本	
戸③	—	1ヶ	1ヶ	1セット2ヶ入から1ヶ	—	1ヶ	1ヶ	—	—	—	
金具の合計数	1セット2ヶ入	1ヶ	3ヶ	1セット2ヶ入	1セット2ヶ入	1ヶ	1ヶ	2ヶ	2ヶ	2本	
下部金物の合計価格 セーフティストッパーはWBメッキを、 FBストライクは生地ヘアーラインを使用の場合 ¥74,470											
											上部レール: AFD-1500 または AFD-1300 3本 上部吊り車: FCX-2950-K-H-L 3ヶ AFD-2950-K 3ヶ ストッパー: AFD-3400 2ヶ

操作ガイド

切替操作 A

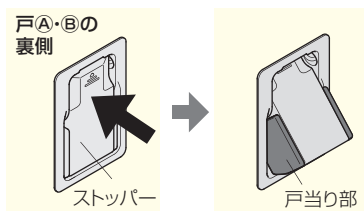
フルオープンからダブルオープンに切替えます。

1. 切替操作の準備

- ① 戸Aを開める方向に操作し、戸を全て閉めます。

2. 戸当り部の操作

- ① 戸A・戸Bの裏側に取付けられている、セーフティストッパーロング(2ヶ所)の上部を押込み、戸当り部を起こします。
※戸Cのセーフティストッパーロングは戸Cの固定を解除しないと戸当り部を起こせません。



ご注意

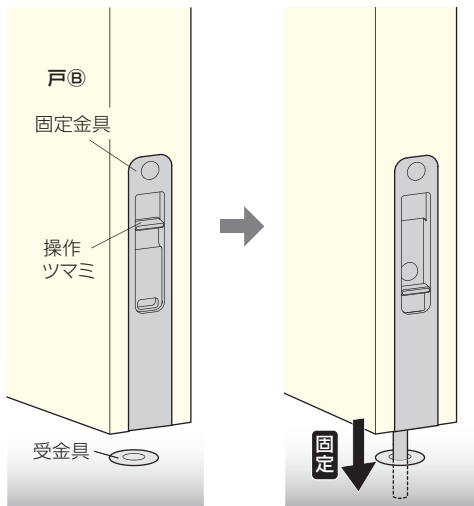
セーフティストッパーロングの戸当り部を起こさずに戸A・戸Bの開閉を行うと、故障や指はさみなどの事故が発生する原因となります。

3. 戸Bを固定する

- ① 戸Bの戸先・戸尻に取付けられている固定金具の操作ツマミを下ろし、シャフトを受金具に入れます。一方のシャフトを入れた後、戸Aを開けて、戸Bの他方のシャフトを入れてください。

ご注意

シャフトを下ろす途中で床などに引っ掛けないようにしてください。

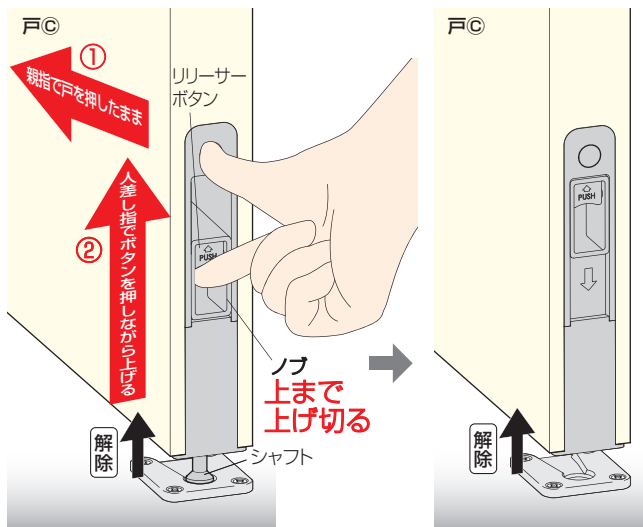


4. 戸Cの固定を解除する

- ① 親指で戸の木口を押しながら、さらに人差し指でリリースボタンを押して、ノブを上げます。
※リリースボタンはノブ自体のロックです。

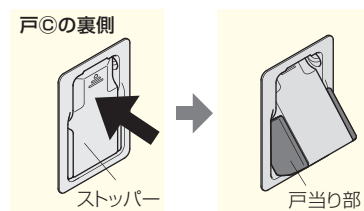
ご注意

ノブを操作する際は、指や爪を痛めるおそれがありますので、十分にご注意ください。



5. 戸当り部の操作

- ① 戸Cの裏側に取付けられている、セーフティストッパーロングの上部を押込み、戸当り部を起こします。



操作ガイド

切替操作時 **A** のご注意

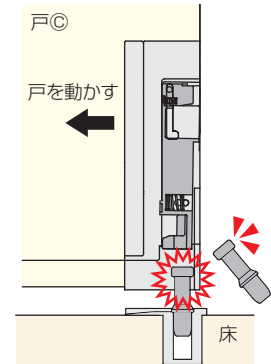
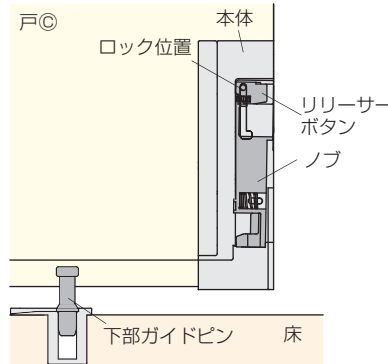
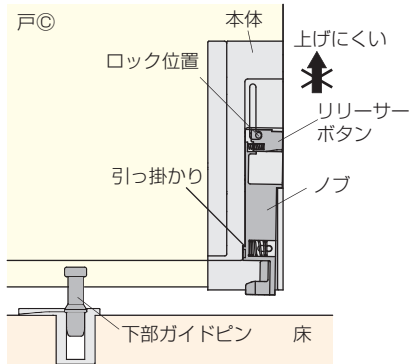
■FG-N150P(格納下部ガイド)の操作について

格納下部ガイドの操作ツマミは、ロックが掛かっております。
さらに、ロックを解除しても下部ガイドピンが格納下部ガイドのキャッチに確実にハマっていないと操作ツマミが上げにくくなる仕組みになっています。

●フルオープンとして使用している時

リリーサーボタンがロック位置にあるため、固定されています。
さらに、ノブが本体内部に引っ掛かっており、リリーサーボタンを押してロックを解除しても、上げづらくなっております。

下記のような位置関係で無理やり上げることは可能ですが、その状態のまま、下部ガイドピンがガイド金具の内壁に当たると、下部ガイドピンが衝撃で外れてしまうおそれがあります。外れてしまった場合は、**外れた下部ガイドピンの戻し方**を参照し、戻してください。

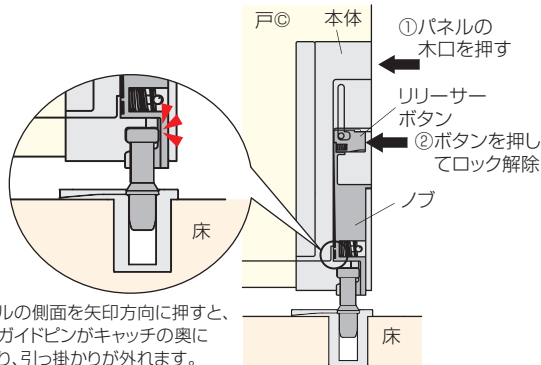


ご注意

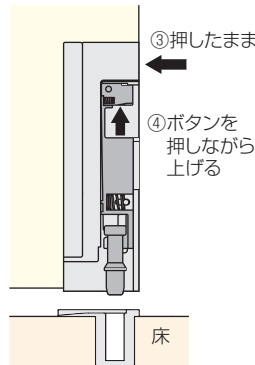
ノブは無理に上げないでください。
引っ掛かり部が削れ、正常な操作ができなくなります。

●ダブルオープンとして使用する場合

- ①ノブが下部ガイドピンに嵌合した状態で、パネルの木口を矢印方向に押すと、ノブの引っ掛かりが外れます。
- ②その状態まま、リリーサーボタンを押してロックを解除しながら、ノブを上げると下部ガイドピンが本体に格納されます。



パネルの側面を矢印方向に押すと、下部ガイドピンがキャッチの奥に当たり、引っ掛かりが外れます。



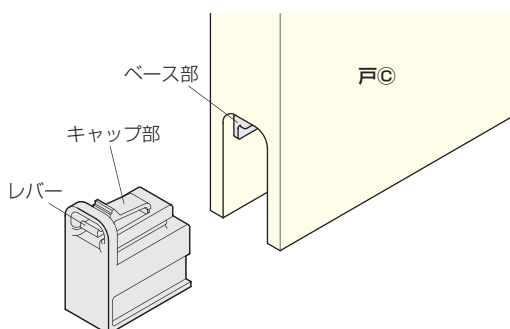
ご注意

ノブを操作する際は、指や爪を痛めるおそれがありますので、十分にご注意ください。

外れた下部ガイドピンの戻し方

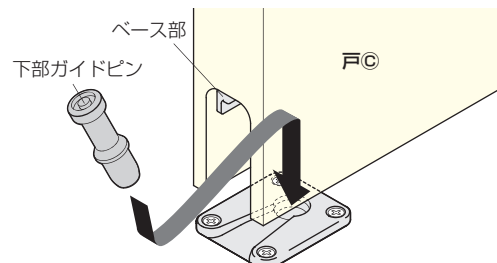
1. キャップ部の取外し

- ①戸の下部戸先のキャップ部をレバーをつまんで外します。



2. 下部ガイドピンを戻す

- ①戸を戸先が壁端部と同一になるまで開けさせてください。
- ②下部戸先の空間から下部ガイドピンを誘導坪受の穴に入れてください。
- ③キャップ部をベース部にしっかり差込み、抜けないことを確認してください。



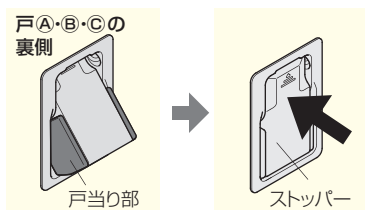
操作ガイド

切替操作 B

ダブルオープンからフルオープンに切替えます。

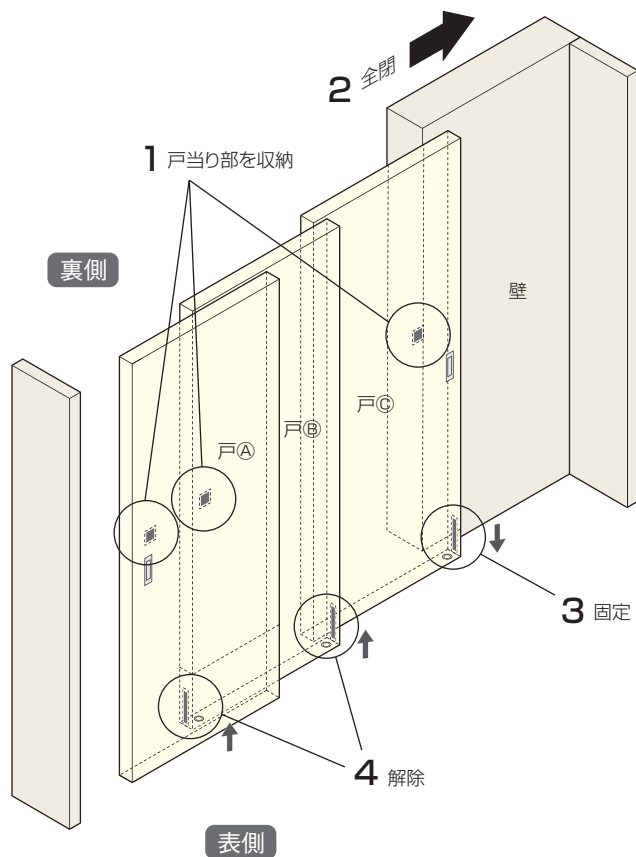
1.戸当り部の操作

- ①戸A・戸B・戸Cの裏側に取付けられているセーフティストッパー(3ヶ所)の戸当り部を押込み、戸当り部を収納します。



2.切替操作の準備

- ①戸Cを全開します。

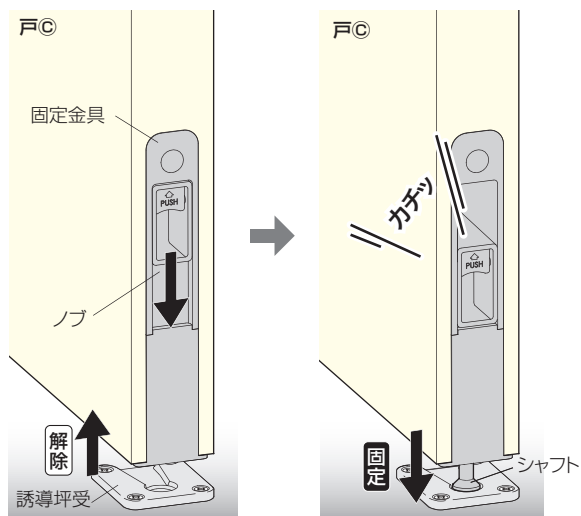


3.戸Cを固定する

- ①戸Cの戸尻側に取付けられている固定金具のノブを下ろして、シャフトを誘導坪受に入れます。

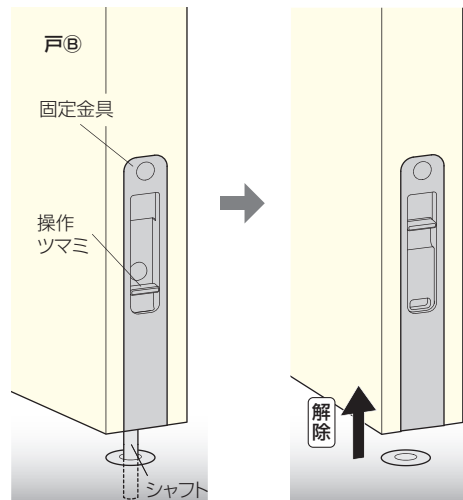
ご注意

シャフトは誘導坪受の誘導部に沿わせてから穴に入れるようにしてください。下ろす途中で床などに引っ掛けないようにしてください。

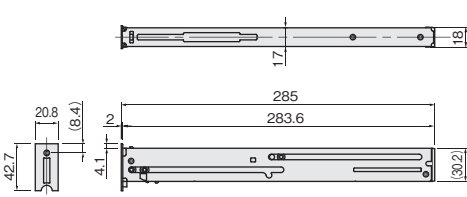
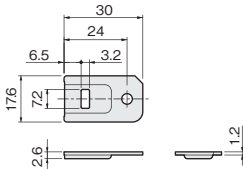
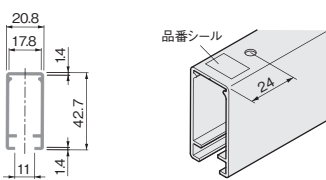
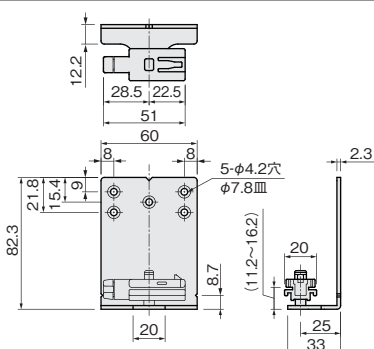
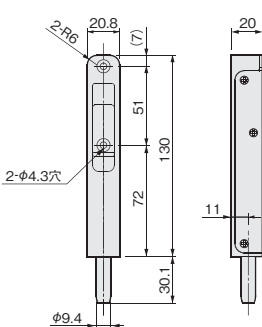
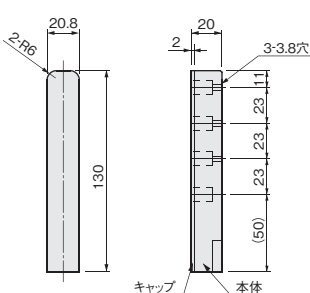


4.戸Bの固定を解除する

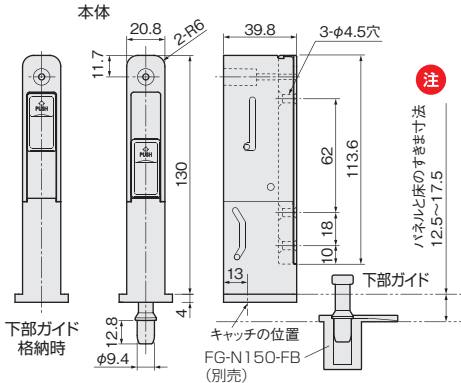
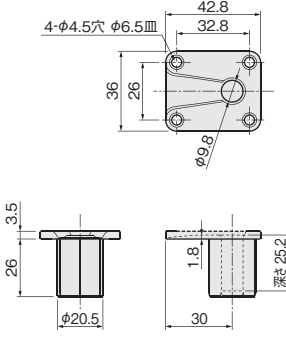
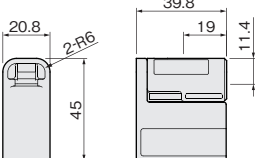
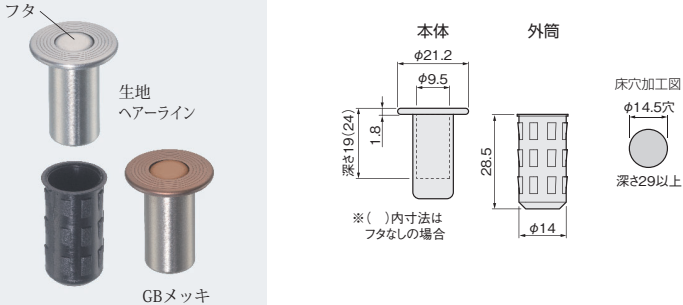
- ①戸Bの戸先・戸尻に取付けられている固定金具の操作ツマミを上げ、シャフトを受金具から外します。



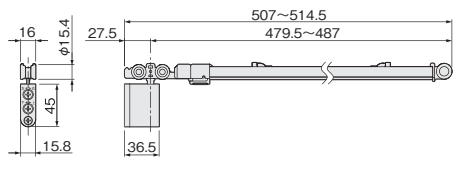
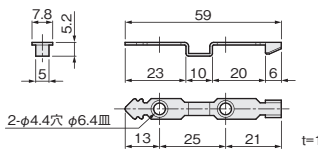
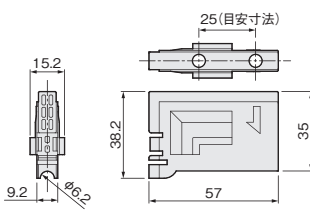
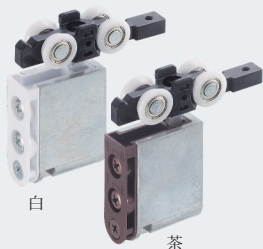
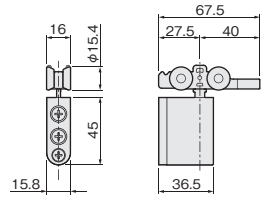
■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
MF-200 NEW  白 茶		●マルチソフトクローズユニット [材 質] POM、PC、銅 [仕上げ] ハウジング部：茶、白 [添付品] MF-500(固定プレート) 1セット	茶 ¥8,400 注文コード 264293 白 ¥8,500 注文コード 272158	16セット
MF-500 NEW 		●固定プレート MF-200を下部ガイドレール内に固定するために使用します。 [材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] ノンヘッドコーススレッド4.8×18 5本	MF-200に添付されています。	
MF-100 NEW 		●下部ガイドレール [材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー [ねじ穴] $\phi 5$ 穴 [ねじ穴間隔] 300mm ※ねじは添付されていません。 固定プレート(MF-500)の添付品を使用してください。	1,300mm ¥4,100 注文コード 264295	20本
MF-TJ01 (ダブルオープントリガーセット) NEW MF-411-25  MF-302		●トリガーセット [材 質] 銅、POM [仕上げ] トリガーベース：クロメート トリガー：グレー [添付品] +皿小頭タッピンねじ 4×25 5本	¥4,800 (1セット2ヶ入) 注文コード 264458	20セット
MF-600 NEW 		●フ랑스落し [材 質] 本体：亜鉛合金、PC、エラストマー 下部ガイド：銅、POM [仕上げ] 黒 [添付品] +バインドタッピンねじ 4×35 2本	¥10,600 (1セット2ヶ入) 注文コード 273946	30セット
MF-610 NEW 		●ノーズブロック [材 質] 本体：亜鉛合金、エラストマー キャップ：PP [仕上げ] 本体：クロメート キャップ：黒 [添付品] +バインドタッピンねじ 3.5×40 3本	¥8,400 (1セット2ヶ入) 注文コード 273945	20セット

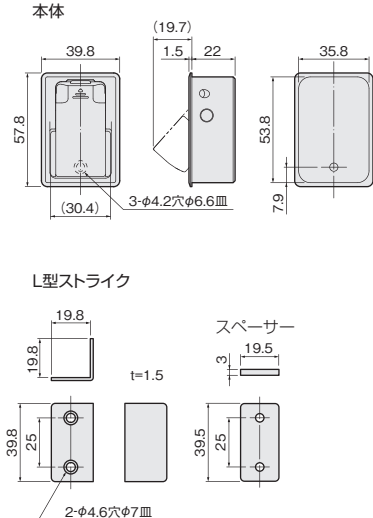
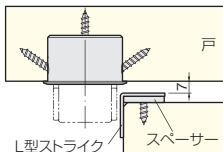
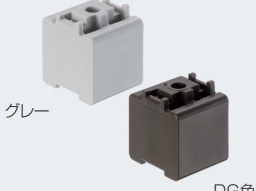
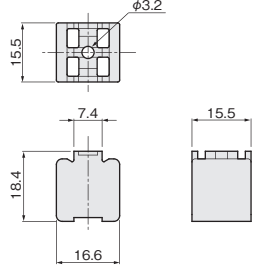
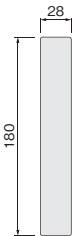
■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
FG-N150P NEW	 ●格納下部ガイド [材 質] 本体：亜鉛合金、PC、エラストマー 下部ガイド：鋼、POM [仕上げ] 黒 [添付品] +皿タッピンねじ 4×35 3本 +バインド小ねじ M4×20 1本 注 パネルと床のすきま寸法 12.5～17.5		¥6,000	5ヶ
FG-N150-FB NEW	 ●誘導坪受 [材 質] 本体：亜鉛合金 坪受内側：POM [仕上げ] クロメート [添付品] +皿小頭タッピンねじ 4×20 4本		¥2,100	20ヶ
FG-N150-G NEW	 ●メンテナンスゲート [材 質] ABS [仕上げ] 黒 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 2本		¥1,070	200ヶ
FBストライク	 ●坪受 [材 質] 本体：SUS304、真鍮 外筒：PA [仕上げ] 本体：生地ヘアーライン、GBメッキ 外筒：黒 ※()内寸法は フタなしの場合 床穴加工図 φ14.5穴 深さ29以上	フタ付き ヘアーライン ¥1,200 注文コード 252591 GBメッキ ¥1,650 注文コード 252593	30ヶ	

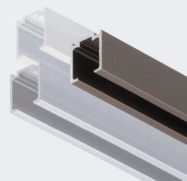
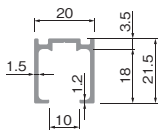
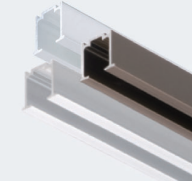
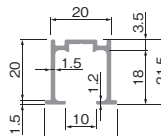
■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
FCX-2950-K-H-L 		●2wayソフトクローズ上部吊り車 戸を吊ったままの状態です。戸の上下前後調整ができます。 [ベアリング] 金属ベアリング [材 質] 本体：POM、PA66複合材、銅、ステンレス鋼 カップ：亜鉛合金 車輪：POM、銅 [仕上げ] ホルダー部：茶、白 跳ね上がり抑制部：グレー [結合ねじ] +皿小ねじ 4×15 1本 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 2本	茶 ¥12,150 注文コード 286680	
			白 ¥12,250 注文コード 286681	
FC-318 		●トリガー レール内に取付け、ソフトクローズを作動させます。 [材 質] ステンレス鋼 [添付品] +皿小頭タッピンねじ 4×16 2本	FCX-2950-K-H-Lに添付されています。 (FC-318 1ヶ) (FC-615 1ヶ)	20セット
FC-615 		●トリガー取付治具 レールを上枠に取付け後、トリガーを取付けるのに使用します。 [材 質] PP	FC-318、FC-615 セットのみ ¥650 注文コード 283535	
AFD-2950-K 		●上部吊り車 [ベアリング] 金属ベアリング [材 質] 本 体：POM、PA66複合材、銅 カップ：亜鉛合金 車 輪：POM、銅 [仕上げ] 茶、白 [結合ねじ] +皿小ねじ 4×15 1本 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 2本	茶 ¥2,570 注文コード 255891	16ヶ
			白 ¥2,670 注文コード 255892	

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
セーフティストッパーロング NEW 		●戸当り [材 質] 本体：亜鉛合金、エラストマー L型ストライク：SUS304 スパサー：PP [仕上げ] 本体：WBメッキ、黒塗装 ストライク：生地ヘアライン スパサー：黒 [添付品] +皿小頭タッピンねじ 4×16 2本 +皿小頭タッピンねじ 4×14 1本 +皿小頭タッピンねじ 4×20 2本 ●L型ストライク L型ストライクと引戸の隙間が7mmを超えてしまう場合は、付属のスパサーをご使用ください。 	WBメッキ (L型ストライク含む) ¥4,700 注文コード AD1104	5ヶ
			黒塗装 (L型ストライク含む) ¥5,200 注文コード AD1105	
			L型ストライクのみ単体 でご注文の場合は下記コ ードでご注文ください。 ¥700 注文コード 256897	50ヶ
AFD-3400 		●固定ブロック ドリルねじで固定するブロックです。 [材 質] ABS [仕上げ] DG色、グレー [添付品] +なべドリルねじ 3.5×35 1本 [対応レール] AFD-1500、AFD-1300	DG色 ¥220 注文コード 178327	100ヶ
			グレー ¥220 注文コード 254939	
3連ダブルオープン操作シール NEW 	 ※シールの図柄やサイズは 変更する場合があります。	●木口シール 剥がしても跡が残らないシールです。 ラベル下端のQRコードで操作動画へ誘 導できます。 [サイズ] 幅28mm×高さ180mm	¥130 注文コード 271189	1ヶ

■レール仕様表

品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
AFD-1500  	シルバー	¥2,800	30本
	アンバー	¥3,000	30本
	ホワイト	¥4,000	30本
	2,730	¥4,200	20本
	3,640	¥5,600	15本
	2,000	¥3,100	20本
	3,000	¥4,650	15本
	4,000	¥6,200	15本
AFD-1300  	シルバー	¥2,800	30本
	アンバー	¥3,000	30本
	ホワイト	¥4,500	30本
	2,730	¥4,200	20本
	3,640	¥5,600	15本
	2,000	¥3,100	20本
	3,000	¥4,650	15本
	4,000	¥6,200	15本

AFD SYSTEM マルチソフトクローズ ダブルオープン納まり

使用条件

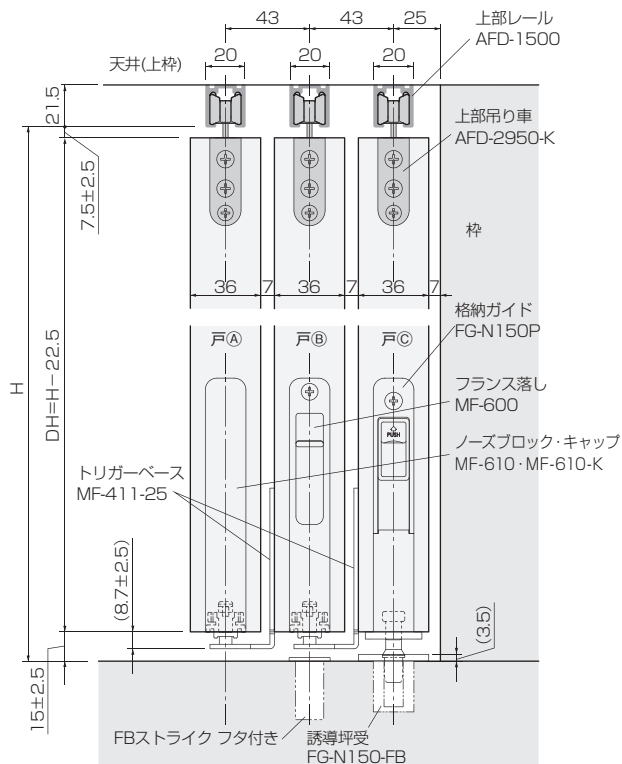
一般住宅屋内用木製引戸(浴室には使用できません)

◇対応戸厚:36mmのみ ◇戸の重なり代:100mm ◇引戸の総質量:30kg以下(引戸1枚) ◇引戸の幅:600~900mm(引戸1枚)

設計ガイド

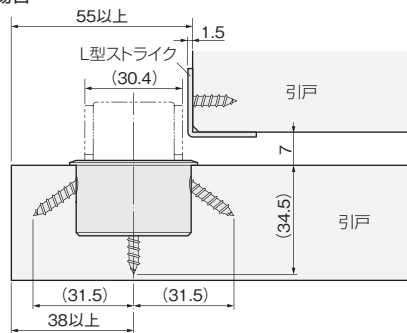
●金具の納まり参考図

●上下および側面の納まり寸法

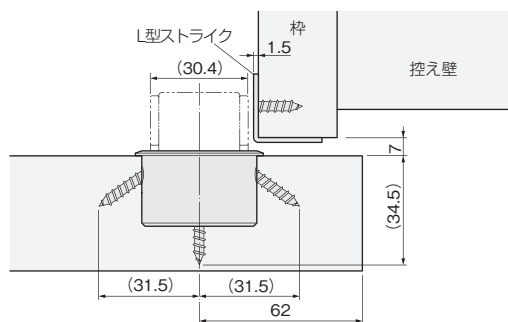


●セーフティストッパーロングの納まり寸法

戸A・戸Bの場合



戸Cの場合



●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ=枠の内寸高さ-上部レールの高さ-22.5mm※

※上式の22.5mmは「戸と上部レールのすきま寸法」と「戸と床のすきま寸法」の合計値です。

※上式で戸の高さを求めることにより、戸と床レールのすきま寸法範囲(12.5~17.5)で戸の上下調整ができます。

ただし、戸A、B、Cと床のすきま寸法は同一になるようにしてください。

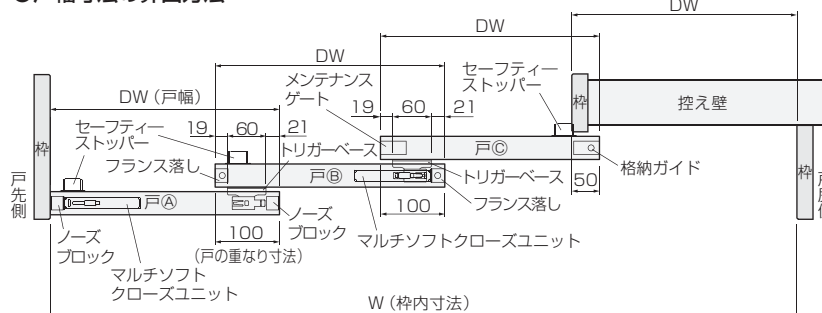
※上部レールの高さは、

AFD-1500(直付け用)=21.5mm

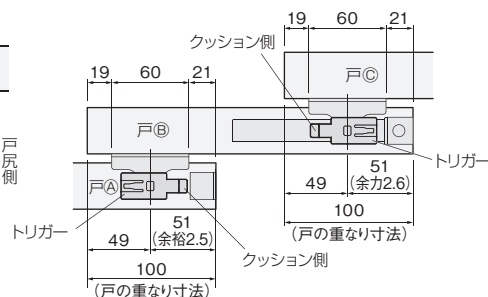
AFD-1300(掘り込み用)=1.5mm(つばの厚さ)

です。

●戸幅寸法の算出方法



戸A、戸B、戸Cの重なり詳細



※戸B・戸Cに取付けるトリガーベースのトリガーの向きが異なることに注意してください。

$$\text{戸幅 DW} = \frac{\text{枠内寸法 W} + 250}{4}$$

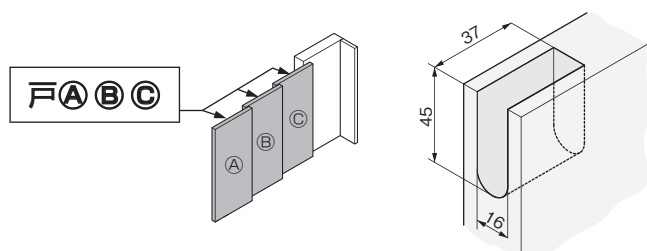
※ 戸の重なり寸法は、引戸を運動させるために必要な寸法です。

ご注意

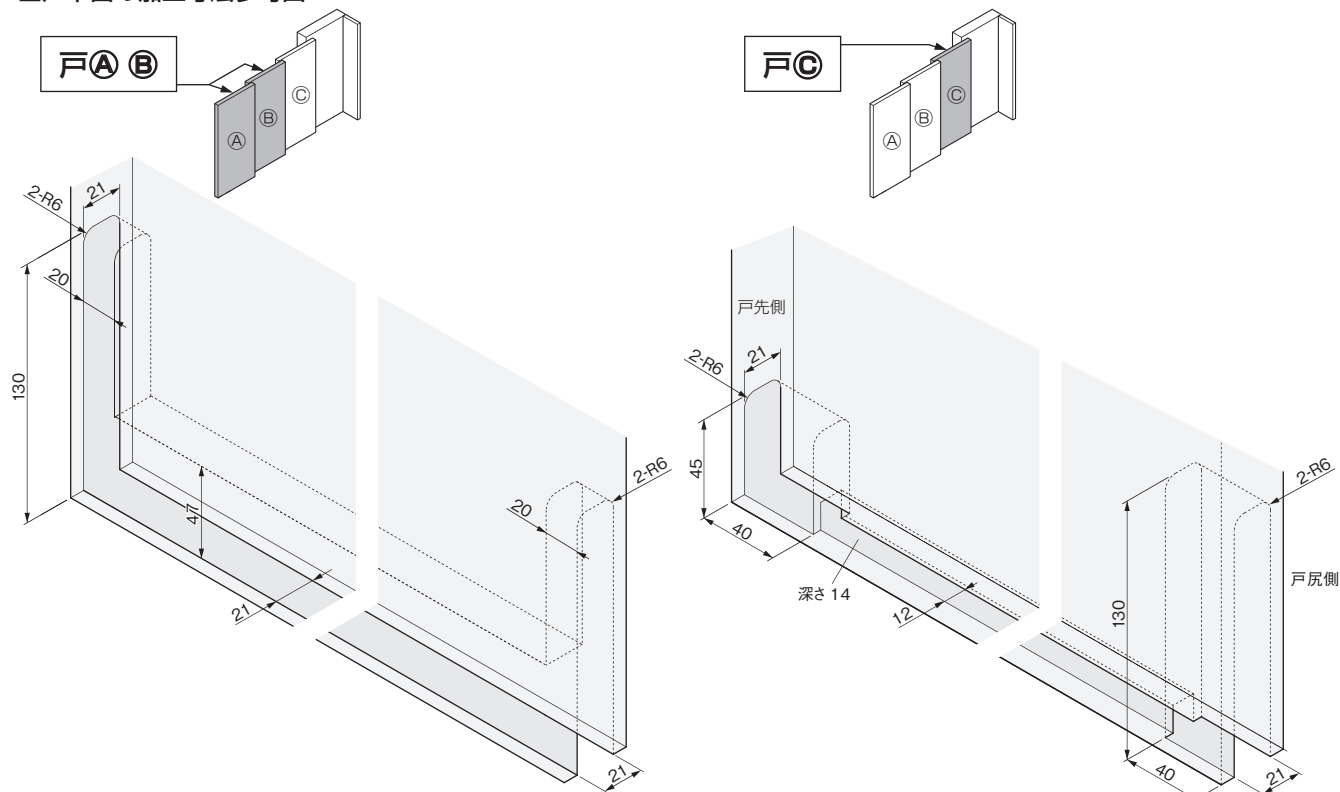
- 正常に引戸を運動させるために、戸A、B、Cと床のすきま寸法は同一になるようにしてください。
- 吊り車の上下調整を行う際に、トリガーベースが戸や床やFBストライクのツバ(厚み1.8mm)に接触しないようにしてください。
- 幅1に対する高さの比率が5を超える引戸を使用して運動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

設計ガイド

■戸上面の加工寸法参考図



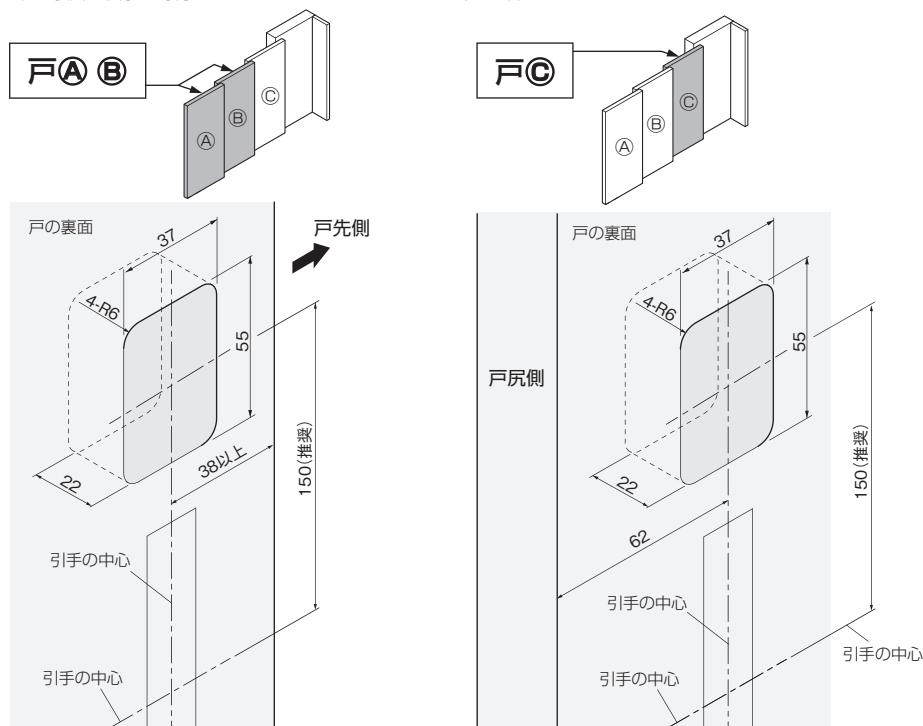
■戸下面の加工寸法参考図



■戸の加工寸法参考図

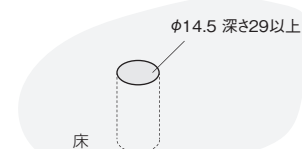
セーフティストッパーロング本体の取付け加工寸法

※戸の裏面に取付ける引手のみ、セーフティストッパーロングと中心を合わせてください。

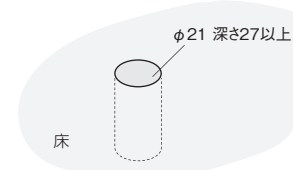


■床の加工寸法参考図

FBストライクの取付け加工寸法



FG-N150-FBの取付け加工寸法

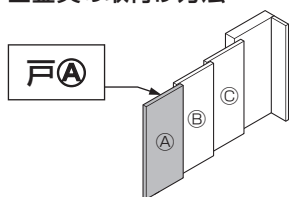


ご注意

戸の動作確認や位置調整を行い、戸の最終位置が確定した後に、FBストライクの加工位置を決めてください。

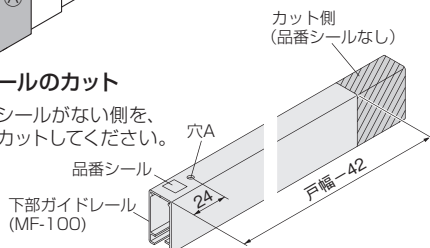
施工ガイド

■金具の取付け方法



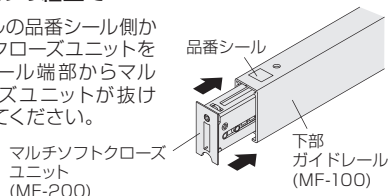
1. 下部ガイドレールのカット

- ① レールの品番シールがない側を、右図を参考にカットしてください。



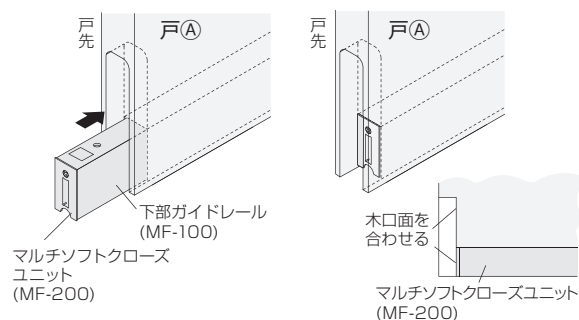
2. 下部ガイドレールの組立て

- ① 下部ガイドレールの品番シール側からマルチソフトクローズユニットを装着します。レール端部からマルチソフトクローズユニットが抜け出ないようにしてください。



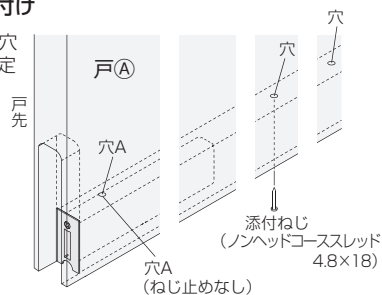
3. 下部ガイドレールの準備

- ① 戸先から図の向きで戸の加工部に挿入します。戸の木口奥側の加工面に揃うようにしてください。



4. 下部ガイドレールの取付け

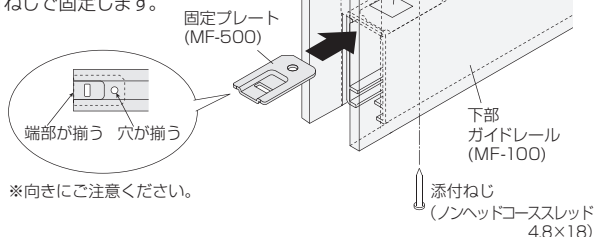
- ① 下部ガイドレールの取付穴を添付ねじで1ヶ所仮固定します。



- ② マルチソフトクローズユニットを引き抜き、穴A以外を添付ねじで全て固定します。

- ③ 戸先側から固定プレートを下図の向きで挿入します。

- ④ 固定プレートの端部と下部レールの端部、穴Aを揃え、固定プレートを下部ガイドレールとともに添付ねじで固定します。

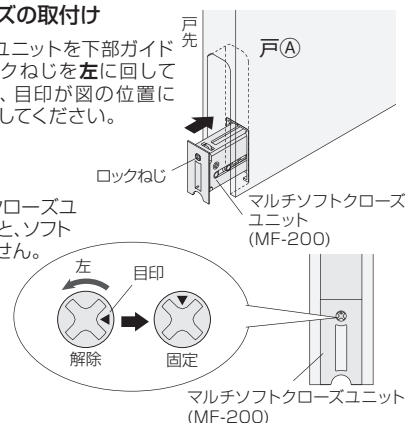


5. マルチソフトクローズの取付け

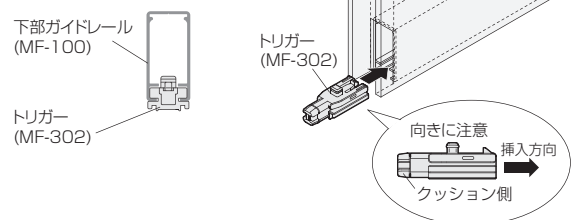
- ① マルチソフトクローズユニットを下部ガイドレールに挿入し、ロックねじを左に回して固定します。このとき、目印が図の位置になっていることを確認してください。

ご注意

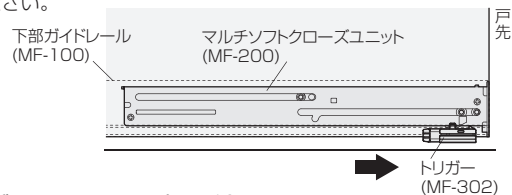
ロックねじでマルチソフトクローズユニットが固定されていないと、ソフトクローズは正しく作動しません。



- ② 反対側より図を参考にしてトリガーを戸尻側の下部ガイドレールに木口から挿入してください。



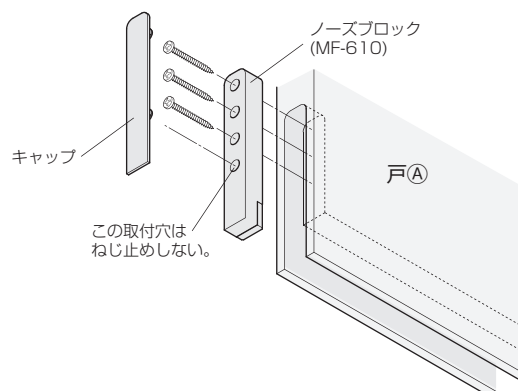
- ③ このままトリガーを押し進め、マルチソフトクローズユニットにキャッチさせてください。



6. ノーズブロックとキャップの取付け

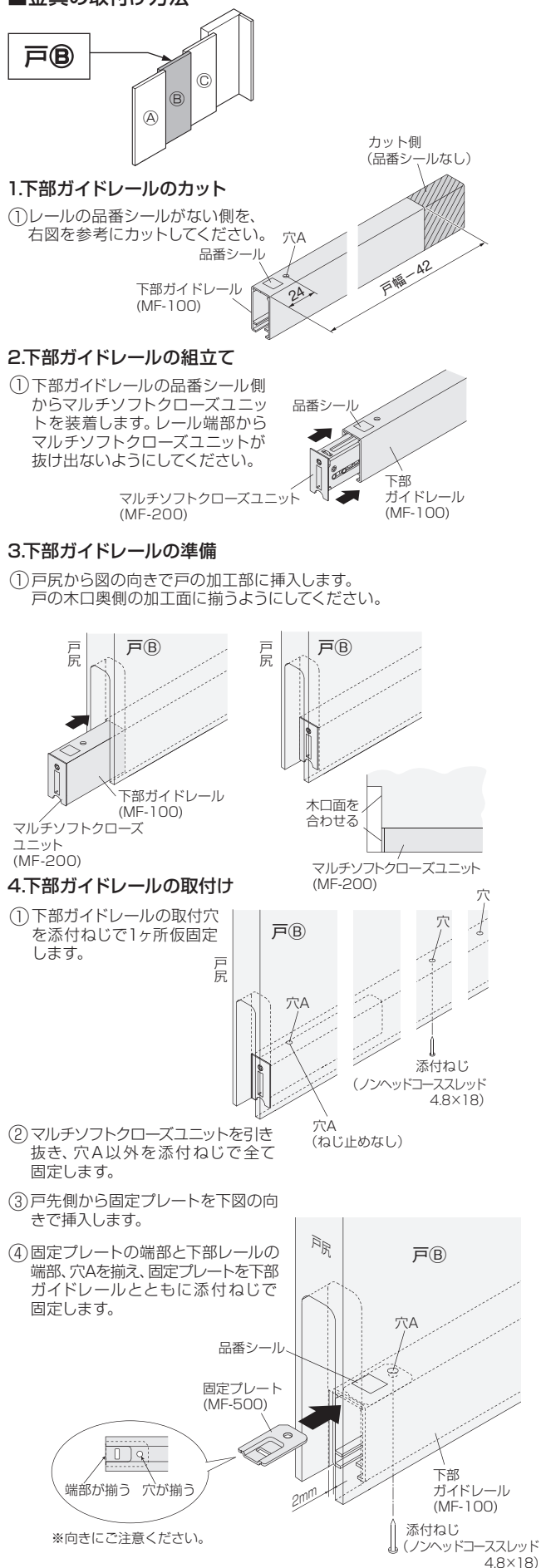
- ① 下部加工部の戸先・戸尻に、ノーズブロックを取付けます。上から3つの取付穴それぞれをねじ止めします。一番下の取付穴はねじ止めしません。

- ② ノーズブロックにキャップをはめ込みます。



施工ガイド

■金具の取付け方法



5. マルチソフトクローズの取付け

- ① マルチソフトクローズユニットを下部ガイドレールに挿入し、ロックねじを左に回して固定します。このとき、目印が図の位置になっていることを確認してください。

ご注意

ロックねじで固定されていないと、ソフトクローズは正しく動作しません。

- ② 反対側より図を参考にしてトリガーを戸先側の下部ガイドレールに木口から挿入してください。

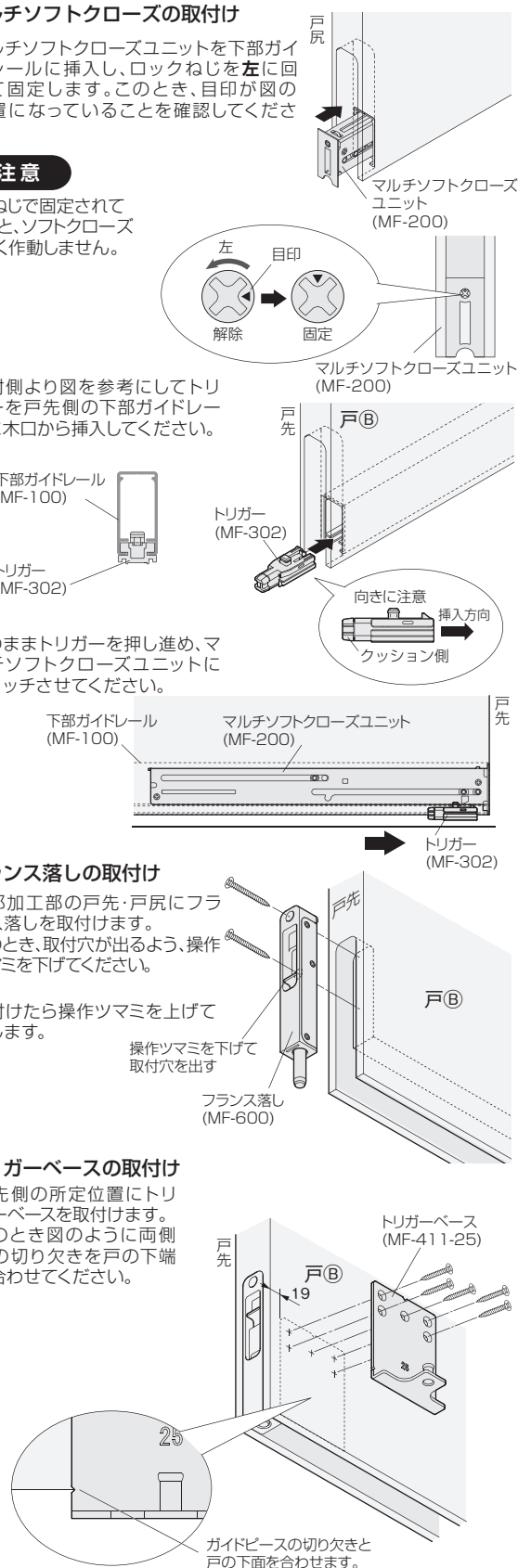
- ③ このままトリガーを押し進め、マルチソフトクローズユニットにキャッチさせてください。

6. フランス落しの取付け

- ① 下部加工部の戸先・戸尻にフランス落しを取付けます。このとき、取付穴が出るよう、操作ツマミを下げてください。
- ② 取付けたら操作ツマミを上げて戻します。

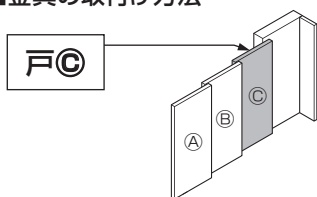
7. トリガーベースの取付け

- ① 戸先側の所定位置にトリガーベースを取付けます。このとき図のように両側面の切り欠きを戸の下端に合わせてください。



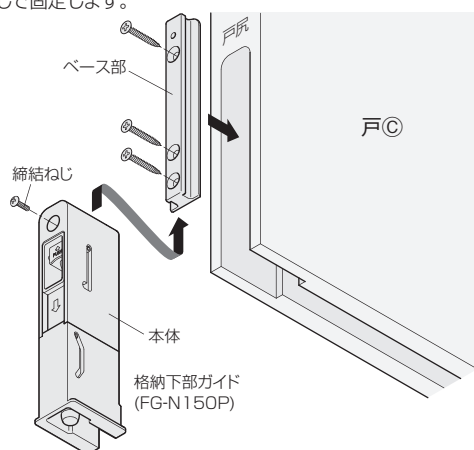
施工ガイド

■金具の取付け方法



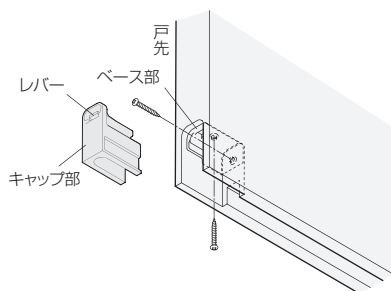
1. 格納下部ガイドの取付け

- ① 格納下部ガイドFG-N150Pを戸尻に取付けます。
格納下部ガイドFG-N150Pの締結ねじをゆるめて、ベース部と本体を分離します。
- ② ベース部を加工部に取付け、本体を戸の底面から差込み、締結ねじで固定します。



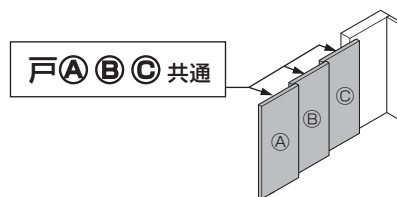
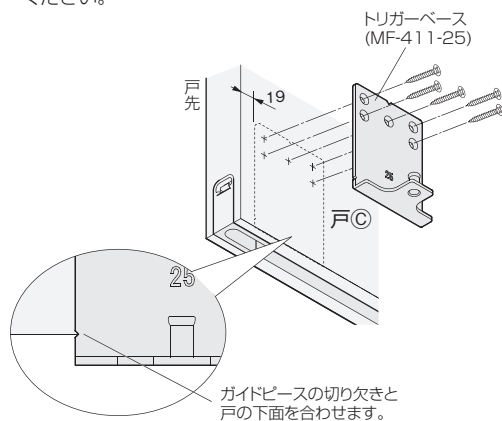
2. メンテナンスゲートの取付け

- ① メンテナンスゲートFG-N150-Gを戸先に取付けます。
メンテナンスゲートのレバーをつまんで、ベース部とキャップ部を分離します。
- ② ベース部を加工部に取付け、キャップ部をベース部にしっかりと差込み、抜けないことを確認してください。



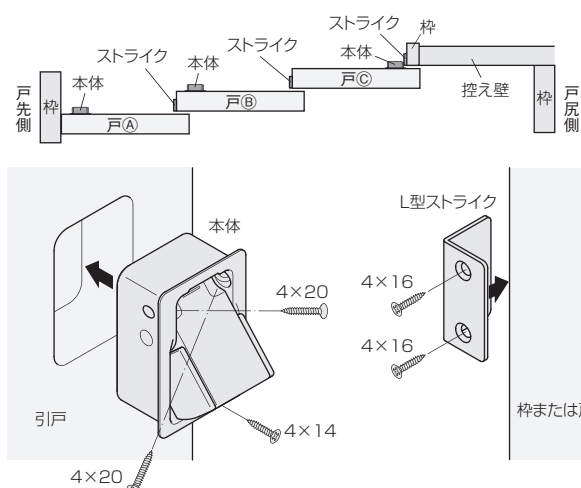
3. トリガーベースの取付け

- ① 戸先側の所定位置にトリガーベースを取付けます。
図のように両側面の切り欠きを戸の下端に合わせてください。



1. セーフティストッパーロングの取付け

- ① 本体を各戸の加工部に取付けます。
- ② ストライクを、セーフティストッパーロング本体の戸当たり部が当たる木口面に取付けます。
※戸A用は戸Bの戸先木口・戸B用は戸Cの戸先木口・戸C用は控え壁先端の枠木口面が取付け位置です。

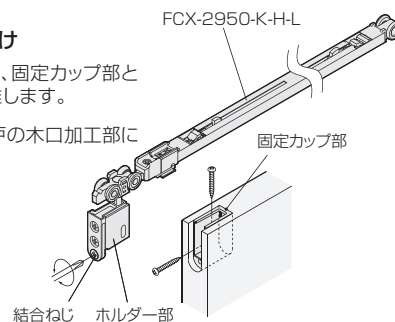


ご注意

ねじを取付ける際、先端が太いドライバーを使用すると、金具を傷つけるおそれがあります。
先端が細いドライバーを使用し、事前に金具を傷つけないことを確認した上で、取付けてください。

2. 上部吊り車の取付け

- ① 結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。

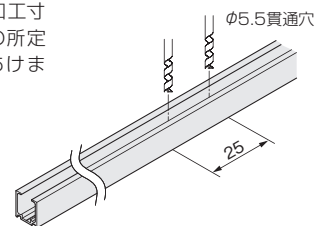


3. レールの穴あけ

- ① 17ページの「●レールの穴加工寸法図」を参考に、各レール芯の所定位置にφ5.5の貫通穴をあけます。(合計12ヶ所)

ご注意

レール内に残った切り粉は取除いてください。



施工ガイド

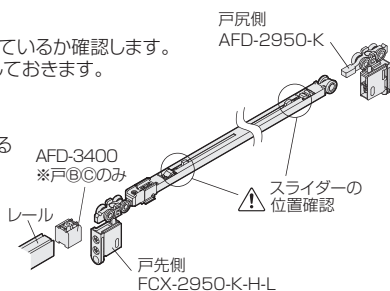
4. 上部レールの取付け

- ① スライダーが図の位置になっているか確認します。
なっていない場合は、押して戻しておきます。

ご注意

ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

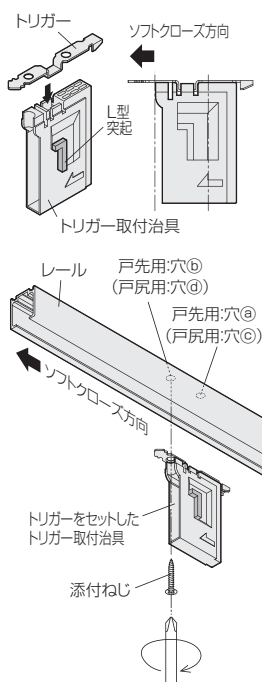
- ② 上部レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③ 上枠に上部レールを取付けてください。



5. トリガーの取付け

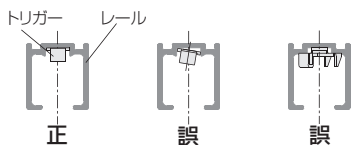
戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

- ① トリガーをトリガー取付治具にセットします。
- ② 「2. レールの穴あけ」であけた[戸先用の場合:穴⑥]・[戸尻用の場合:穴⑦]に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。



ご注意

- 治具の側面にあるL型突起がレールと接触するまで、しっかりと押し込んでください。
- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
 - トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。
- ③ 完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの[戸先用の場合:穴⑥]、[戸尻用の場合:穴⑦]をねじ止めしてください。

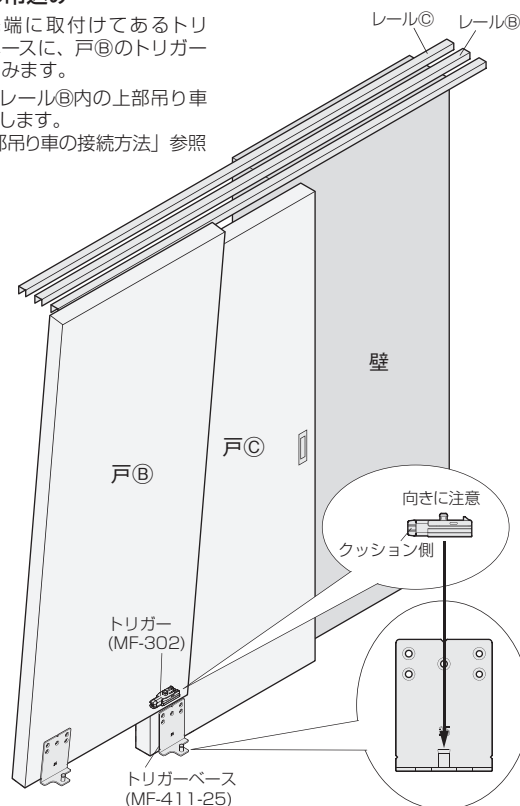
■ 戸の吊込み

1. 戸③の吊込み

- ① 戸③とレール③の上部吊り車を接続します。
※「上部吊り車の接続方法」(17ページ参照)

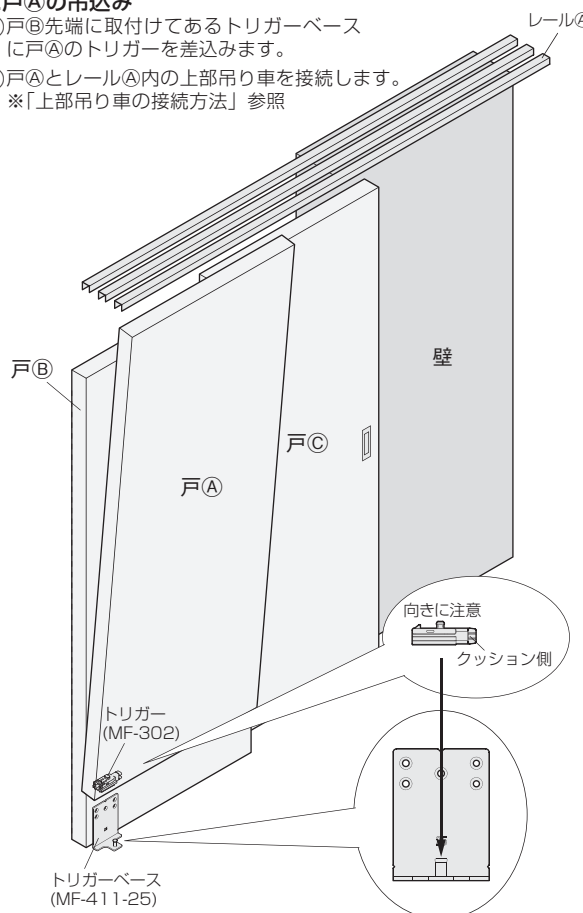
2. 戸⑥の吊込み

- ① 戸⑥先端に取付けてあるトリガーベースに、戸⑥のトリガーを差込みます。
- ② 戸⑥とレール⑥内の上部吊り車を接続します。
※「上部吊り車の接続方法」参照



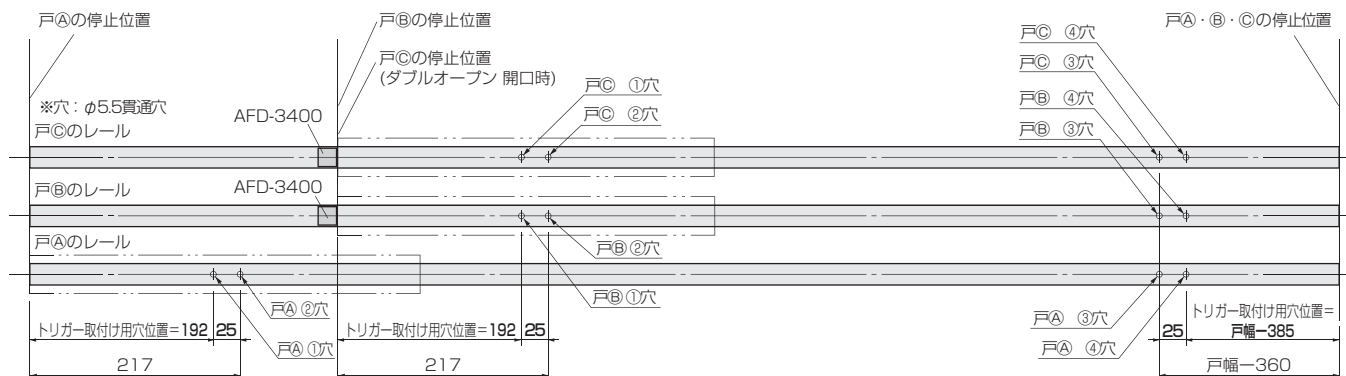
3. 戸④の吊込み

- ① 戸④先端に取付けてあるトリガーベースに戸④のトリガーを差込みます。
- ② 戸④とレール④内の上部吊り車を接続します。
※「上部吊り車の接続方法」参照



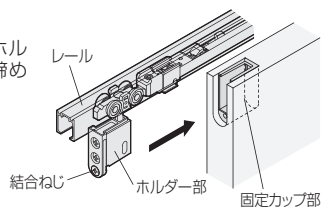
施工ガイド

●レールの穴加工寸法図



■上部吊り車の接続方法

- ① 固定カップ部に上部吊り車のホルダー部を差込み、結合ねじを締め、固定してください。

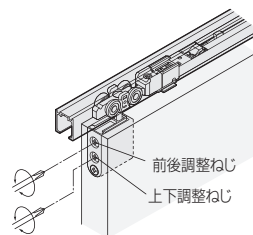


■戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。

※ソフトクローズの速度調整はできません。

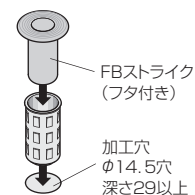


■床の金具の取付け

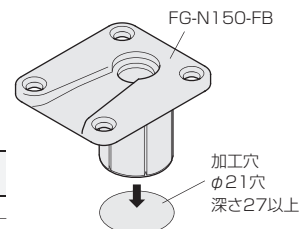
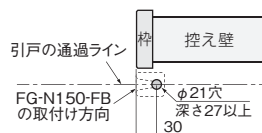
ご注意

戸の位置調整や動作確認をし、戸の最終位置が確定した後に穴加工をしてください。

- ① 戸Bの引戸用フランス落しMF-600のシャフトの位置に合わせて穴加工し、FBストライク フタ付きを床に取付けます(2ヶ所)。



- ② 戸CのFG-N150P(格納下部ガイド)のシャフトの位置(長手方向は控え壁枠より戸尻方向に30mm)に合わせて穴加工し、FG-N150-FB(誘導坪受)を床に取付けます(1ヶ所)。





〈ご注意〉

- 製品は予告なしに仕様変更する場合があります。
- 商品選定の目安として製品性能を記載しておりますが、あらゆる使用状況を保証するものではありません。
- 材質については、全て普通名詞（銅、アルミ合金…など）によって表示しているとともに、その製品の外観主材質を表しています。
- 紙面の都合上、細部寸法などの資料の一部を省略しています。細部資料をお求めになりたい方は、別途お問い合わせ下さい。

住まいの飾り職人



アトムリビンテック株式会社

本 社

〒110-8680 東京都台東区入谷1274
TEL.03(3876)0600(代表)

特 販 事 業 部
卸 売 事 業 部

TEL.03(3876)0603 FAX.03(3876)8833
TEL.03(3876)0602 FAX.03(3876)4435

アトムCSタワー

〒105-0004 東京都港区新橋4315

アーバンスタイル事業部
亜吐夢金物館

TEL.03(3437)3673 FAX.03(3437)3565
TEL.03(3437)3440 FAX.03(3437)3565

大 阪 事 業 所

〒564-0052 大阪府吹田市広芝町185

アトム 住 ま い の
金物ギャラリー大阪

TEL.06(6821)7281 FAX.06(6821)7282

札幌営業所

〒060-0907 札幌市東区北七条東32832
TEL.011(748)3113 FAX.011(753)3015

前橋営業所

〒371-0805 前橋市南町3727
TEL.027(223)2651 FAX.027(223)2661

広島営業所
C/Dセンター

〒733-0037 広島市西区観音町86
TEL.082(291)4235 FAX.082(291)4880

- 弊社ホームページの『atom動画ギャラリー』
(https://www.atomit.com/atom_tv/)から、商品
の動画が閲覧できます。

